

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●オークスはユーパーレーベンが優勝

5月23日(日)に行われた優駿牝馬(オークス)(G I)ではユーパーレーベン(牝3歳/美浦・手塚貴久厩舎)が優勝しました。同馬にとっては新馬戦以来の勝利で、1勝馬のオークス制覇は、1939年ホシホマレ、1995年ダンスパートナーに次ぎ、26年ぶり、史上3頭目のこととなります。

●北村宏司騎手がJRA通算1400勝を達成

5月22日(土)の2回東京9日・第5レースではローゼライトが1着となり、同馬に騎乗した北村宏司騎手(美浦・フリー)は、史上23人目、現役では10人目となるJRA通算1400勝(1万5729戦目)を達成しました。

●清水英克調教師がJRA通算200勝を達成

5月23日(日)の2回新潟6日・第7レースではサノノクヒオが1着となり、同馬を管理する清水英克調教師(美浦)は、現役104人目となるJRA通算200勝(延べ3596頭目)を達成しました。

●春の新潟競馬リーディングジョッキーは菅原明良騎手

5月23日(日)をもって2回新潟競馬が終了し、1回新潟競馬で7勝、2回新潟競馬で8勝、計15勝をあげた菅原明良騎手(美浦・高木登厩舎)は、自身初となる春の新潟競馬リーディングジョッキーに輝きました。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2021年1月1日から5月9日までに実施された世界の主要レースが対象で、TJスミスS(豪G1)を連覇したネイチャーストリップ(123)が前回第3位タイから首位へとランクアップ。日本からは、皐月賞(G I)を勝ったエフフォーリアとクイーンエリザベスII世C(香港G1)2着のグローリーヴェイズが第7位タイ(120)となり、このうちエフフォーリアはサンフェリペS(米G2)圧勝のライフイズグッドと並んで3歳トップとなっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヒロシゲゴールドが北海道スプリントC(門別)で重賞初制覇

北海道スプリントC(Jpn III、5月27日、門別、1200m)は、3番手からゴール前200mで逃げ馬を捉えた3番人気のヒロシゲゴールド(北村宏司騎手、牡6歳、父サウスヴィグラス)が、外から迫る単勝1.3倍で圧倒的人気のリュウノユキナを半馬身差で振り切り、初の重賞制覇を果たしました。出遅れた2番人気のスマートアルタイが追い上げて3着、サンライズカラマは8着でした。

●北斗盃(門別)は人気のラッキーDream【各地の主要3歳重賞】

北斗盃(5月13日、門別、1600m)は、3番手から4コーナー手前で先頭に立ったJBC2歳優駿の覇者ラッキーDream(牡、父シニスターミニスター)がそのまま押し切り、1番人気に応えました。のじぎく賞(5月13日、園田、1700m、牝馬)は、中団から追い上げた6番人気の伏兵クレモナ(牝、父クラグオー)が直線半ばで差し切り、3馬身差の完勝を取っています。

●アルクトスとワイドファラオが参戦、6月3日のさきたま杯

さきたま杯(Jpn II、6月3日、浦和、1400m)は、アルクトスとワイドファラオのJpn I勝ち馬2頭が双璧、以下エアスピネル、昨年の覇者ノボバカラ、ベストマッチョ(川崎)までが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1愛2000ギニー〜マックスウィニーが逃げ切る

5月22日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛2000ギニー(3歳牝馬、芝1600m)はマックスウィニー(牡、父ニューアプローチ)が逃げ切って優勝。短アタマ差の2着にはG1英2000ギニーの勝ち馬で、G1仏2000ギニー6着から中5日での参戦となったポエティックフレアが入り、J.ボルジャー厩舎のワンツーフイニッシュとなりました。マックスウィニーは昨年10月のG1フューチュリティトロフィー(芝1600m)でG1初制覇。今季初戦となった5月9日のG3愛ダービートライアルSは4着でした。ボルジャー調教師、R.クリアリー騎手はともにこのレース初制覇です。

●G1愛1000ギニー〜エンプレスジョセフィーヌが差し切る

上記G1愛2000ギニーの翌日に同じカラ競馬場で行われたG1愛1000ギニー(3歳牝馬、芝1600m)は後方でレースを進めたエンプレスジョセフィーヌ(父ガリレオ)が、2番手から早めに先頭に立った同じA.オブライエン厩舎のジョンオブアークを短アタマ差交わして優勝しました。2016年の欧州年度代表馬マインディングの全妹にあたるエンプレスジョセフィーヌは今年3月にデビュー勝ちを飾りましたが、その後はG3レパーズタウン1000ギニートライアルSが10着、前走のヴィクターマッカルモント記念Sも2着でした。オブライエン調教師はこのレース10勝目。S.ヘファナン騎手は5勝目です。